

特集 市民と行政による協働のまちづくり

平成18年度市政執行方針

また、ホテル・旅館の良質な飲料水確保するため、衛生施設の整備を引き続き支援するとともに、冬季観光客誘致やウィンタースポーツ振



▲昨年度の中国人研修生白さん

近年、東南アジアからの観光客が増加しておりますが、今後さらに中国をターゲットとした対策が重要と考えますので、広州市との交流を深めるとともに、他地域との交流も視野に入れ、自治体職員交流事業による中国人研修生の受け入れを継続してまいります。



▲スキーを体験する修学旅行生

興のため、サンライバスキー場の安定的な運営を図ってまいります。

なお、団塊の世代をターゲットとする移住勧誘については、白老町や西胆振各市町村と連携して情報発信に努めるとともに、資産運用や趣味の追及、農業や地場産品の加工など広範な学習や体験を組み入れたマスターズアカデミー・ツアーを企画し、連泊やリピートへの結びつき、さらには移住の実現を期してまいります。

◎農業振興

農業については、引き続き家畜排せつ物の適正な管理と有機物資源としての有効活用を図るとともに、畜産物加工の取り組みを推進してまいります。

◎漁業振興

漁業については、安全・安心な水産物の供給体制を整えて漁業生産活動を助長するため、高度衛生管理型（ハサップ）荷捌所の建設を支援するとともに、つくり育てる漁業の展開を図り、漁業経営の安定を目指してまいります。



▲登別漁港

重点施策②

いきいきと暮らせるまちづくり

厚生労働省が発表した人口動態年間推計によると、平成17年は死亡者数が出生者数を上回り、我が国は人口減少社会に突入し、これからはますます少子・高齢化が進展すると見込まれます。

◎子育て支援

子育て支援については、少子化の流れの方向転換を目指す『次世代育成支援行動計画』に沿って進めておりますが、働く女性が子どもを産み育てやすい環境をつくるためには、民間職場における出産休暇、育児休暇などの普及を図る必要があります。また、行政としても、新たな取り組みとして、出産後間もない母親の精神的・肉体的負担の軽減を図るため、ヘルパーを派遣して支援する産後子育てママ派遣事業を実施するほか、幌別西小学校に放課後児童クラブを新設します。



◎高齢者の保健福祉、介護予防

高齢者の保健福祉や介護予防については、本年度からスタートする

『高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画』に沿って進めてまいります。

また、高齢社会に対応する基盤整備を推進するため、民間による介護付有料老人ホームの新設や老人保健施設増設の事業に『ふるさと融資制度』による支援を行ってまいります。

◎障がい者の保健福祉

障がい者の保健福祉につきまして、本年4月から障害者自立支援法が施行されます。

支援法は、障がいの有無にかかわらず国民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指しており、施行後は、障害種別などによって異なっていた福祉サービスや公費医療を利用する仕組みや内容が一元化されますので、その周知を図り利用者の増加に対応できるよう取り組んでまいります。

また、障害児福祉については、本年4月から児童デイサービスセンターのぞみ園にこども発達支援センター機能を持たせ、保育所や幼稚園など子どもに関わる機関と連携しながら、発達支援が必要な子どもとその家族の相談や療育の体制強化を図ってまいります。



▲のぞみ園